「行政の組織・人事評価と活用」セミナー

現在の行政は、住民ニーズとの乖離、縦割りや形式重視による業務遂行の非効率性、財政赤字の拡大など様々な問題を抱えており大きな転換期にあります。このような転換期においては、組織の目的や役割を明確にし、それらに基づく組織や人事評価とその活用が必要とされます。

株式会社日本総合研究所では、過去30年にわたる組織・人事問題のコンサルティング実績と、本年7月に実施した米国の先進的自治体現地調査の結果を踏まえ、転換期の組織や人事評価の具体的方策とその活用法について解説致します。

日時

平成13年10月24日(水) 受付13:00開始 13:30～17:00予定

会場

(株)日本総合研究所 東京本社1階 (地下鉄半蔵門線No.5出口)
東京都千代田区一番町16番 (: 03-3288-5345)

講師

(株)日本総合研究所 研究事業本部 人事戦略クラスター
クラスター長・主席研究員 小林 英夫
(株)日本総合研究所 研究事業本部 行政マネジメントクラスター
副主任研究員 山中 俊之

受講料

無料

セミナープログラム

1. 「転換期における行政の組織のあり方とその評価」

- ・ 行政における客観的指標の設定と評価の意義
- 行政のおかれている現状、民間企業との対比
- ・ ニューパブリックマネジメント(NPM)型の行政組織のあり方
- トップマネジメントと権限委譲された執行部門
- 組織(=局部課)の使命(ミッション)と戦略目標(ゴール)の設定
- ・ 組織(=局部課)の指標設定の具体的内容
- マネジメント、組織や人材、チャレンジなどの視点を入れた多角的な評価指標の設定
- 組織評価の活用方法

2. 「新しい人事評価のあり方」

- ・ 役職等級制度からミッションに基づく新等級制度の設計
- ・ 人事評価制度の設計
- プロセス成果と最終成果基準に基づく業績評価基準の作成方法
- 取組み姿勢、意欲評価基準の作成方法
- 能力評価基準の作成方法
- ・ 昇給、賞与・勤勉手当への反映の方法
- ・ 公正な人事考課・部下育成のできる管理職の育成方法